

令和4年度 第1回 療育に関する情報交換会 会議報告書

日時 令和4年6月21日(火)
10:00~11:15

場所 龍野庁舎第1会議室
(司会:ふうり 記録:わかば)

1. 開会

- ・龍野健康福祉事務所あいさつ

昨年度はコロナ禍で対面は1回の開催。顔の見える関係の中、皆で共有し業務につなげられたらと思う。

2. 事業所紹介

- ・事業所アンケートに基づき自己紹介

<A 事業所> 児童発達支援の定員が増えた。養育に関する講演を実施予定。

<B 事業所> 特に変更はなし。昨年はコロナ禍で活動が制限されたが、クッキングや外出等活動の幅を広げていきたい。

<C 事業所> 変更はなし。コロナで休校になり利用人数減。6/21から1週間休校になる学校がある。コロナの様子を見ながら全員で公園に行く等地域交流を増やしたり、同系列の高齢者施設のイベントに参加。

<D 事業所> 管理者兼児発管が産休になり、管理者と児発管が変更。管理者は併設の障害者支援施設の施設長が兼務。重心の方や医ケアの必要な方が安心・安全の中、一人ひとりに合わせた活動を行っている。

<E 事業所> 大きく変更はなし。児童指導員が2名に増。コロナ制限で水遊びやイベントができないが、できることを行う。まだ不安感大きく、保護者の思いを肌で感じながら皆で楽しいことができたらと考える。

<F 事業所> 常勤STが1名増。放デイの言語もグループで実施。社会福祉士も増え相談支援事業所と連携しながら行っていく。

<G 事業所> 時間が少し変更。3歳~小3がメインで利用。1時間の療育型、2~3

人のグループでコミュニケーションメインで実施。70名の登録。6ヶ月毎の計画が手間。

<H 事業所>4月末に管理者が退職。来月保育士が増える予定。実施地域に上郡町がなかったが以前から利用はあった。休校日の利用時間は10:00～16:00。佐用町は感染者が少なく地域の行事が戻ってきている。作品出展等で交流を増やしていきたい。同法人のB型事業所との交流会にて卒後の進路のイメージがしやすくてきたらと思う。

<I 事業所>たつの市の利用児が増えている。STが1名増え2人体制。養成校に打診し昨年度STの実習生を受け入れ、今年度は20名の予定。地域に小児に関わるSTが増えたり、地域理解を深めてもらえたらと思う。

<J 事業所>多機能ではなく児発と放デイの2事業が併設。児発、放デイ含めると定員15名。コロナでこの2年は自粛していたが、今年度は外出を増やしていきたいと思う。

<K 事業所>大きく変更はなし。コロナ禍ということや中・高生も体が大きくなり、大きなスペースで密を避け場所を分け2班で活動している。Ns、PTが増え活動場所を分けても安心な人員配置になっている。季節毎の体験や外出等を楽しみたい。

<L 事業所>保護者のニーズもあり保育所等訪問支援が増えている。コロナ禍でも地域交流、地域貢献、訪問ができたらと思う。

<M 事業所>クッキングに力を入れたい。利用児も大きくなり、同法人のB型事業所との交流に力を入れていきたい。

<N 事業所>県の事業委託。個別訪問はできなかったが、連絡をして様子伺いを行う。佐用・たつの・太子の療育教室へ職員の派遣。

<O 事業所>変更なし。年齢問わずも子どもが多い。児発、放デイ介しての関わりや相談でつながっている。連絡いただくと連携が取りやすい。発達検査は保護者のニーズや状況に応じて実施。事業所にも検査協力をお願いしたい。外出していることが多いが、電話はつながり折り返す。

3. 昨年度の活動報告・今年度の活動内容について

事務局より別添西播磨圏域自立支援協議会設置要綱、事業報告をもとに説明。圏域自立支援協議会は最初から4市3町の圏域として作られ、療育を始め様々な部会がある。コロナ禍で活動制限があるも、地域課題を共有する機会を持ち、市町と一緒に動いていきたい。

4. 情報交換会

・計画相談について

児童の計画の伸びがすごい。療育につなげる計画が追い付かない。また、どう相談につながるかが課題。

・濱本氏より

コーディネーター連絡会議より、県からの受託にて加西市の養徳会きずなに医ケア児等支援センター設置。7/9センターの相談員が西播磨来訪。医療ケア児等コーディネーターの集まりの中で、地域のニーズ等の意見を聴取したい。

サビ管研修について今年度は対面で行う予定。

5. その他

・ひなたぼっこ：法人主催の言語障害セミナーを開催する。

パンフレット参照。5名程集まれば出張セミナーもできる。事業所見学は木曜日の午前は可能。

ST養成校は増えているが、定員を満たしているわけではなく卒業生が増えるかは不明。PTやOTに比べると少ない。子どもの言葉のニーズ増えているが、求人を出しても応募ない。実習は成人ばかりで小児経験なく、就職時に選択肢から消える。学生時に小児との関わりや就職先に先輩がいるか等課題がある。

6. 閉会

・龍野健康福祉事務所あいさつ

園芸の健康効果についての講演があります。募集定員に迫りつつあります。

西播磨圏域リハビリテーション支援センターについて、赤穂中央病院に事務局であり、PT、ST、OTの単発での派遣で職員への指導、相談あれば継続派遣の紹介等ある。次年度は自立支援協議会の委員に就任される。

次回予定： 令和4年10月

障害児計画相談支援に関する連絡会と合同で開催予定。地域ブロックで計画。身近な所から活性化できるよう働きかけていきたい。事業所で契約者数や年齢層、利用回数の設定などを10月の部会にて共有、取りまとめたので協力をお願いしたい。